

あぷろうち

～ approach ～



日本労働組合総連合会
群馬県連合会（連合群馬）

発行人 阿部 和彦
編集人 金子 裕昭

〒379-2166
群馬県前橋市野中町361番地2
(群馬県勤労福祉センター2F)
TEL 027-263-0555
FAX 027-261-0549
Eメール info@gunma.jtuc-rengo.jp
URL http://www.rengo-gunma.gr.jp/

2011年11月号
No.199



震災復興支援を重点項目に追加 第12期後半期スタート



10月29日、榛名文化会館で第16回年次大会を開催し、代議員・オブザーバー・傍聴など280名が参加しました。

年次大会では、昨年の第15回定期大会で決定された活動方針を基に第12期前半期の活動を総括しました。また、時代の変化やニーズに対応する中で、東日本大震災復興支援の長期化が予想されることから、連合群馬総体として取り組むボランティア（復興支援）を重点活動に加え、「つながろうNIPPON」をキャッチフレーズとした活動方針が満場一致で確認されました。

更に、地協活動強化に向けた取り組みについて提案し、①第12期後半期の中では地協の再編・統合はせず12地協維持、②地域の勤労者に対する支援を強化・充実するため、前橋・高崎・太田の3地協へ専従役員を配置（前橋地協は副事務局長兼務）することが確認されました。

また、役員補選が行われ、小島副会長をはじめとする5名の役員が確認されました。



「すべての県民が安心して暮らせる地域社会を目指し」団結ガンパロー

（北川会長あいさつ抜粋）

東日本大震災の影響で、職場や家庭など将来の不安を感じながら、過ごした年でした。連合群馬では大震災の対応として災害対策本部を立ち上げ、ボランティアやカンパ活動などを行い、更には、社会保障制度崩壊、競争激化によるグローバル化、雇用不安などの課題を抱える中で、「働くことを軸とする安心社会」の実現をキーワードに、様々な活動を展開してきました。

連合活動の3本柱である、ふれあいフェスティバルは震災の影響で開催可否についての議論もありましたが、働く仲間や被災者支援のために「つながろうNIPPON」をテーマに県内各地で開催し、過去最高の来場者がありました。各会場では、子どもたちの笑顔が溢れ、素晴らしいイベントであったと評価しています。

また、1万人から回答を得た県民意識調査をベースに、議員・有識者の意見を反映しながら政策をまとめ、知事提言を行いました。今後の行政運営もしっかり見据えて、政策実現を進めていきたいと思えます。

統一地方選は震災後の取り組みでしたが、立派な結果となりました。政策実現には一人でも多くの議員を議会の場に選出する大切な取り組みがあります。2012年度の取り組みも引き続き「連動」を意識し構成組織・地協・県連合が一体となって、自分たちには何ができるかという考えのもと、力を出し合って活動していきたいと思えます。

まだ、厳しい状況下ではありますが、引き続き頑張りましょう。